

2 学期始業式 校長あいさつ

校長 山 田 義 二

2 学期が始まります。夏休みはどのように過ごしましたか。進路についてやるべきことをやった、部活動ばかりだった、アルバイトをした。それぞれがそれぞれの思いや考えに基づいて過ごした夏休みだったと思います。まずは、皆さんが事件・事故に巻き込まれたという報告がなかったこと、そして全校生徒が今日の始業式に登校してくれたことが一番のよかったことだと思います。本当にありがとうございます。

1 学期終業式では、役割ということばをもとに 1 学期を振り返ってみましょうと話しました。役割をこなす、役割をやり遂げる、役割を全うすることはとても大事なことで、生徒同志、生徒と先生、お互いの約束の一つだと言えます。また、皆さんが住んでいる地域にも皆さんの役割があるはずです。夏休みには各地域の活動に参加してみてもどうですかとも終業式で話しました。地域の一人として地域活動に参加した皆さん、ありがとうございます。昨日も村陸上競技大会があり、多くの皆さんが競技役員として大会を支えていただきました。支えていただきました皆さん本当にありがとうございました。さらに、今週末は旧盆があります、地域には皆さんの役割が必ずあるはずです。自分が地域のために何ができるのかを考えて地域活動に参加してみてくださいよろしくお願いします。

さあ、改めて 2 学期は「チーム宜野座」として各自の役割を意識しようじゃありませんか。「チーム宜野座」のコンセプト、去年は「コミュニケーションは言葉のキャッチボール」、今年は「人の話は耳で聞く、目で聞く、心で聞く」です。私たちは言葉を使って思いや考えを伝えています。その言葉が相手を傷つけるような言葉だといい関係は築けません。また、言葉を聞くほうの姿勢も大事にしていきたいです。いい言葉を使うと、聞くほうも耳を傾け、目を見つめ、心を相手に向けるはずです。いい言葉を使うといいコミュニケーションがとれる、いいコミュニケーションがとれるといい時間を過ごすことができると私は思います。いいコミュニケーションを通して各自が自分の役割をやり通し、学校を盛り上げていくことはとても大事なことだと思います。特に 2 学期には学園祭があります。各学級で自分たちらしい取組を考えているはずです。コミュニケーションをとりながら皆さん一人ひとりがきちんと役割を果たすことが、やってよかったという達成感やうまくできたという満足感につながり、それがうまく反応しあうとチームとしての一体感につながると思います。一つのことをやり抜く、やり通すことで皆さんは必ず成長します。「チームクラス」の一人として、「チーム部活動」の一人として、「チーム青雲寮」の一人として、そして「チーム宜野座」の一人として、やるべきことをやり通す努力を重ねていきましょう。

繰り返しになりますが、役割をこなすということは、皆さんが成長する一歩だと思います。また、役割をやり通すことが成長する努力をすることだと考えます。努力を積み重ね、一歩ずつ前に進んでいくことが皆さんの成長だと思います。「チーム宜野座」として大事にしたいことです。2 学期も様々な活動への主体的な参加・協力をよろしくお願いします。

では、私の話が皆さんの心に届いていることを期待して、2 学期始業式のあいさつとします。静かに聞いてくれてありがとうございました。